

一般社団法人

宮城県警備業協会

法人化40周年記念事業

表彰式及び記念講演



記念講演

(仮題) 警備業を取り巻く現状と未来への希望

仙台大学現代武道学科

学科長 教授 田中 智仁 様

～40年の感謝を胸に 未来の安全安心へ～

昭和46年の結成を経て、昭和61年に法人化した協会は今年で40周年を迎えました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、関係機関団体のご支援の賜物と感謝申し上げます。

40周年は、次の時代への出発点と捉え「安全はすべてに優先する」との強い信念のもと、県民から信頼され、社会から必要とされる警備業界の発展に努めてまいります。

会長 後藤 公伸



県民の安全・安心を
守ります



信頼される警備業界の
確立に努めます



安全文化の醸成と
労働災害ゼロを目指します

日時

令和8年

10月28日(水)

午後3時から(受付:午後2時30分から)

会場

パレスへいあん

5階「エトワールホール」

※懇親会は5階「ボヌール」

仙台市青葉区本町1丁目2番2号

TEL.022-265-5111

参加費12,000円(祝賀会を含む)



※当日お越しの際は公共交通機関をお使いください。

主催

一般社団法人宮城県警備業協会

お問い合わせ／事務局 022-371-0310

一般社団法人

宮城県警備業協会

法人化40周年記念事業



県民の安全・安心を
守ります



信頼される警備業界の
確立に努めます



安全文化の醸成と
労働災害ゼロを目指します

～40年の感謝を胸に 未来の安全安心へ～

昭和46年の結成を経て、昭和61年に法人化した当協会は、本年、法人化40周年を迎えました。

これまで協会の歩みを支えてくださった会員の皆様、関係機関・団体の皆様に、心より感謝申し上げます。

とりわけ、法人化から永年にわたり会員として協会と歩みを共にし、警備業界の発展にご尽力いただいた皆様に、深い敬意と感謝を申し上げます。

40周年を新たな出発点として、「安全はすべてに優先する」との信念のもと、県民から信頼され、社会から必要とされる警備業界の未来を築いてまいります。

会長 後藤 公伸

永年会員受賞の皆様

ALSOK宮城(株)

ALSOK(株)宮城支社

石井ビル管理(株)

(株)建美

CSP東北(株)

(株)清建

セコム(株)東北本部

(株)セノン東北支社

同和警備(株)

同和興業(株)

(株)トスネット

(株)日本オイラービルサービス

(株)日本パトロール警備保障

(株)ビルワークジャパン

陸前保安警備保障(株)

感謝申し上げます

一般社団法人宮城県警備業協会

お問い合わせ／事務局 022-371-0310

150 mm

450 mm

加盟会員之証

一般社団法人 宮城県警備業協会

社会の安全安心に貢献する警備業



○

40年の歩み

— 安全・安心を守る使命とともに —

昭和46年の創立以来、宮城県警備業協会は、時代の変化と社会の要請に応えながら、警備業の健全な発展と地域社会の安全・安心の確保に努めてまいりました。

東日本大震災や新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機を経験する中でも、警備業の使命を胸に刻み、会員相互の結束と関係機関との連携を深めてきました。

ここに、これまでの歩みを振り返り、先人のご尽力に敬意と感謝を表するとともに、その志を次代へ継承してまいります。

沿 革

- 昭和46(1971)年 **宮城県警備業協会設立**
警備業の健全な発展と、会員相互の連携を目的に、有志により設立
- 昭和47(1972)年 **警備業法施行**
警備業が法制度下で、業界の適正化と社会的責任が一層求められた
- 昭和57(1982)年 **協会組織を改組**
警備業の発展と社会的役割の拡大を見据えた組織基盤の充実
- 昭和61(1986)年 **社団法人宮城県警備業協会設立**
業界団体としての基盤を確立するため任意団体から法人化へ
- 平成 7(1995)年 **阪神・淡路大震災**
大規模災害における警備業の役割と災害対応の重要性を改めて認識
- 平成10(1999)年 **宮城県警察本部と災害協定締結**
9月1日災害時における交通誘導業務等に関する協定を締結
- 平成11(1999)年 **協会事務所移転**
2月26日現在地に移転、教育研修センター開設
- 平成23(2011)年 **東日本大震災発生**
未曾有の災害の中、警備員が被災地の安全確保に尽力
当協会会員においても24名の尊い命が失われる
- 平成24(2012)年 **一般社団法人へ移行**
新たな法人制度下で、組織のさらなる充実を図る
- 令和 2(2020)年 **新型コロナウイルス感染症拡大**
社会活動が大きく制限される中、感染防止と業務継続の両立に取り組み、警備業務を継続することで、社会の安全と機能を支えた
- 令和 8(2026)年 **法人化40周年**
これまでを振り返り、先人の功績を顕彰するとともに、「安全・安心を守る」という使命を次代へ継承し新たな年と歩む



そして次の時代へ

昭和46年の創立から半世紀余り。警備業を取り巻く環境は大きく変化し、その役割もまた、施設や人の安全を守ることにとどまらず、地域防犯、交通安全、災害対応など、社会のあらゆる場面へと広がってきました。

東日本大震災では、警備業の使命の重さを実感し、コロナ禍では、社会機能を維持するために業務を継続する責任を改めて認識しました。

幾多の試練を乗り越えることができたのは、歴代の役員、会員企業、そして現場に立ち続けた警備員一人ひとりの不断の努力と、関係機関をはじめとする多くの皆様のご理解とご支援があったからこそです。

宮城県警備業協会は、これまで培ってきた経験と絆を礎に、これからも地域社会から信頼される警備業の発展に努め、安全・安心な宮城の実現に貢献してまいります。



会長挨拶

法人化40周年を迎えて



一般社団法人宮城県警備業協会 会長 後藤公伸

一般社団法人宮城県警備業協会は、昭和46年10月の結成を経て、昭和61年3月の法人化以来、本年、40周年という大きな節目を迎えました。

この40年、社会は大きく変貌し、警備業に求められる役割もまた、時代とともに広がってまいりました。

とりわけ、平成23年の東日本大震災においては、県内の警備員が交通の確保や避難・救援活動に伴う安全確保、被災施設等の警戒、復旧・復興工事における交通誘導など、被災地の安全を支える役割を担いました。また、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に際しても、施設等における入退場管理や混雑防止など、社会機能を維持するための業務に携わりました。

これらの経験は、平穏な日常の陰にあって、社会の安全と安心を支える警備業の使命の重さを、私たちに改めて認識させるものでありました。

当協会が今日まで歩みを重ねることができたのは、歴代会長をはじめとする役員、そして会員各社の皆様が、幾多の時代の変化の中にあって、警備業の健全な発展と社会公共の安全確保のため、たゆまぬ努力を重ねてこられた賜物であります。とりわけ、長きにわたり協会を支えてこられた永年会員の皆様に、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

40周年は、これまでの歩みに感謝し、その歴史と志を次の世代へと継承する節目でもあります。

当協会は、先人が築かれた礎を大切に受け継ぎ、「安全はすべてに優先する」との理念のもと、会員の皆様とともに、安全文化の醸成、人材の育成、労働災害の防止、警備業のさらなる発展に取り組んでまいります。

そして、これまでの経験と教訓を未来につなぎ、いかなる時代にあっても、県民の皆様から信頼され、地域社会の安全安心に貢献できる警備業界を築いてまいります。

40年の歩みに寄せていただいたご支援に、心より感謝申し上げますとともに、これからの宮城県警備業協会に、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人宮城県警備業協会
会長 後藤 公伸